



地元の有志で手づくりしました（北檜山区）

愛知ふれあいパークゴルフ場完成！ 5/13

愛知町内会（大口義孝会長）が昨年からの農作業の合間を縫って少しずつ手づくりしてきた「愛知ふれあいパークゴルフ場」が完成し、5月13日（火）看板が設置されました。このパークゴルフ場は、旧愛知小学校グラウンド跡地を利用したもので全9ホール（約1万㎡）。水道やトイレも完備されています。この土地は、これまで愛知町内会が管理・清掃をしてきましたがパークゴルフのニーズが高まったことから地元有志68人が出資して中古の芝刈り機を購入するなど本格的に整備。また農作業用のパレットをティーグラウンドに利用するなどアイディア満載です。料金は無料ですが協力金を入れるBoxも設置しています。

サッポロ瀬棚三杉会（瀬棚区）、在札太櫓会（北檜山区）

札幌ふるさと会開催 5/11 - 18

5月11日（日）、札幌市においてサッポロ瀬棚三杉会総会が開催され、それぞれ思い出話に花を咲かせていました。その中で、現在3区それぞれにあるふるさと会を一本化したいなどの声もあがっていました。

翌週の5月18日（日）には、KKRホテル札幌において在札太櫓会定期例会が開催されました。

当日は、創設されたばかりの※「ふるさと応援寄附」のPRを行ったところ、早速1件お申込みを頂きました。ありがとうございました。

※「ふるさと応援寄附」については、7ページでご紹介しています。



豊かな海への願いをこめて（瀬棚区）

『お魚をふやす植樹祭』開催 5/20

5月20日（火）、瀬棚区で「お魚をふやす植樹祭」が行われました。

この植樹祭は、ひやま漁協瀬棚支所女性部の主催で、10年以上も続けられています。当日はあいにくの天気でしたが、地元漁業者や漁業関係者約40名が参加して東大里地区にヒノキ・アスナロの苗を320本植樹しました。参加者のみなさんは、海が豊かになることを願って植樹を行いました。

緑の少年団による

「緑の募金」街頭運動 5/16 - 21

毎年恒例の緑の少年団による「緑の募金」が5月16日（金）北檜山区と大成区、5月21日（水）瀬棚区でそれぞれ行なわれました。これは緑化思想の啓発、募金による環境緑化、森林整備の推進を目的として毎年実施されるもので、地球の温暖化や洪水を防止するための植林、荒れた水源林や里山の手入れなどの森林づくりに活用されます。当日は天候に恵まれ、青空の中、緑の少年団が元気いっぱい募金を呼びかけ、募金してくれた方、一人ひとりに緑の少年団からお礼のドウダンツツジやヨドガワツツジの苗木と緑の羽根が手渡されました。





将来トップレベルの選手になれる可能性を持った選手を発掘する 函館トレセンにセタナ・ジュニア F C から3名 6/1

レベルの高いサッカー選手を各地から集めて指導する「函館トレセン」に3名の選手がセタナ・ジュニア F C から選ばれました。選手はこれから、毎週函館で行われるトレーニングに励み、それぞれトルナーレ小学生親善大会、秋田カップ東北都市選抜大会など各種大会に参加する予定です。また、各大会において更に高い評価を得た選手は次のステップである「北海道トレセン」への道も開かれることになります。

◎函館トレセンに選ばれた選手

U-11：松橋慶帆くん、菊地司眞くん（北小5年）

U-12：新保雄太くん（瀬小6年）2回目

海難事故防止に救命胴衣の着用を！（瀬棚区）

標語を瀬棚港防波堤の胸壁に塗装 6/11

瀬棚海上保安署では、瀬棚港の利用者に対し海難事故防止のために救命胴衣の着用を呼びかける標語を、瀬棚港南外防波堤の胸壁に塗装しました。

この標語は、昨年8月、檜山管内の小学生を対象に救命胴衣着用推進標語の募集を行い、最優秀賞に選ばれた当時瀬棚小6年 横山涼香さんの作品「救命胴衣 しっかり着けよう 家族のために」で、海の事故が少なくなるように、漁師の方にもこの標語を見て、気をつけて漁に出てもらいたいとの願いが込められています。



せたな商工会大成支所女性部・青年部による（大成区）

「交通安全運動」街頭啓発開催 6/11

6月11日（水）、大成区本陣地区消防コミュニティセンター前においてせたな商工会大成支所女性部・青年部による交通事故撲滅への願いを込めた交通安全街頭啓発が行われました。道行くドライバーへシートベルトの着用とスピードダウン、「気をつけて運転願います」と声をかけ、花の苗とお菓子、パンフレットとティッシュを配りました。

商工会の皆さんの願いを大切に、事故のないように心掛け安全運転をお願いします。



花も思いやりの心も咲かそう（北檜山区）

北檜山小学校で「人権の花運動」 6/12

6月12日（木）、花を植えて、育てることで思いやりの心をはぐくんでもらおうと、函館地方方法務局と北檜山区人権擁護委員から北檜山小学校（大平浩文校長）に花の苗が贈られました。当日行なわれた贈呈式では、サルビアなど3種類、160本の苗が贈呈され、児童からは、「この花を見たときは人権のことを考えてみたい。また家族にも話してみたいと思います」とお礼が述べられました。その後、北檜山区高齢者大学「いきがい学園」の皆さんの協力を頂きながら、学校花壇や国道229号沿いの花壇に花の苗を植えました。

